

運輸総合研究所の2024年の活動を振り返る

運輸総合研究所は、国内外の動向と課題を見極めつつ、皆様との交流・連携を深め、持続可能で活力に満ちた交通運輸及び観光の実現に貢献すべく、研究調査、セミナー・シンポジウムの開催、コンサルティング等の活動に重点的に取り組んでいます。

また、国際的な活動については、当研究所の本部と米国のワシントン国際問題研究所（JITTI）及び2021年4月にタイのバンコクに設立したアセアン・インド地域事務所（AIRO）との連携の下、「自由で開かれたインド太平洋」の実現のために交通運輸・観光が果たすべき役割を常に意識して、北米から東南アジア・南アジアに至る地域において、かつ、欧州の動向にも十分配慮しつつ、広域的かつ戦略的に進めております。

今号の特集では、運輸総合研究所の2024年の活動を振り返る形で、活動の全体像をご紹介します。当研究所といたしましては、2025年も諸々の活動を通じて、皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当研究所の主な活動

① 研究調査・政策提言

当研究所では、中長期的視点に立ちつつ、国際的な知見を活かし、日本及び米国、ASEAN等において、陸・海・空の各輸送モードや観光分野を横断した、普遍的かつ重要な政策課題に関する調査研究活動に取り組み、成果の発表や政策提言を行っています。

現在の研究調査の全体像とテーマ概況については、本誌P.6～11にて紹介します。

② コンサルティング事業（調査受託）

国、地方自治体、独立行政法人、民間会社等から、公共交通・モビリティ、高速鉄道、都市間・都市鉄道、航空、物流、観光など様々な分野の政策企画立案や計画づくり等のための調査を受託しています。

特に交通計画関連を中心とした調査実績に基づく知見の蓄積や学識経験者とのネットワークを活用し、国際拠点空港等の滑走路新設・増設の計画策定の基礎的検討、東京、大阪などの都市鉄道の新線建設にかかる将来需要予測、事業採算性分析、費用便益分析等による事業免許取得に向けた事業性の検討、補助対象事業となる鉄道施設の事業評価など、実務的なニーズに対応した研究調査に取り組み、社会に貢献しています。

③ 国際活動の推進

コロナ後の各国・地域の経済・社会情勢を見極めつつ、観光・文化・学術をはじめとする幅広い分野での国際的な人的交流の充実・拡大、東南アジア・南アジアにおける質の高い交通インフラの整備・運営や人材育成など、関係各国・地域との連携の強化につながる研究調査やセミナー・シンポジウム等の活動に取り組んでいます。また、国際学会での発表、海外の研究機関との交流の充実に努めています。

2024年の当研究所の国際的な活動について、次頁にて紹介します。



世界に広がる運輸総合研究所の活動



宿利 正史
運輸総合研究所 会長

運輸総合研究所の国際的な活動の状況については、2024年9月26日に開催した第55回研究報告会の開会挨拶において、宿利会長から紹介がありました。

今後とも、海外の主要国や国際学会等との連携・協働を普段に図りつつ、当研究所の活動の質をグローバルなレベルで高めていきたいと考えています。

2024年の主な活動状況

英国

- 1月 東京
第3回JTTRIグローバルセミナーの開催 (Imperial College London スミス名誉教授の講演)
- 3月 ロンドン
国際海事機関 (IMO) 海洋環境保護委員会 (MEPC) 第81回会合にて研究成果発表

アイルランド

- 8月 ダブリン
第35回国際地理学会議 (IGC) 2024にて研究成果発表

ポルトガル

- 6月 リスボン
国際航空輸送学会 (ATRS) 第27回世界大会にてJTTRI Best Paper Award授与、研究成果発表

デンマーク

- 3月 東京
国民議会運輸委員会一行との意見交換

ドイツ

- 5月 ライプチヒ
国際交通フォーラム (ITF) 交通大臣会合2024にて研究成果発表

フランス

- 11月 パリ・アンジェ
地域観光産業の生産性・付加価値の向上に関する現地調査

米国

- 1月/7月 カリフォルニア州 (サクラメント・ロサンゼルス・サンフランシスコ)
交通分野の脱炭素化・水素活用に関する現地調査
- 4月 ワシントンD.C.
日米鉄道シンポジウム2024の開催 (米国公共交通協会 (APTA) 共催)
- 10月 ワシントンD.C.
経済安全保障のためのシーレーンの安全確保とサプライチェーンの強靱化シンポジウム2024の開催 (ジョンズホプキンス大学SAISライシャワー東アジア研究センター共催)



インド

- 8月 デリー・ムンバイ
ガティ・シャクティ大学 (GSV) とのMOU締結
ムンバイ・アーメダバード間高速鉄道工事の現地調査
- 11月 デリー
インド洋地域の海洋安全保障に関する現地調査

バングラデシュ

- 6月 ダッカ
ダッカメトロ6号線現地調査

スリランカ

- 11月 コロンボ
インド洋地域の海洋安全保障に関する現地調査

南アフリカ

- 9月 ケープタウン
第18回陸上旅客交通における競争と所有形態の国際会議 (Thredbo18) にて研究成果発表

タイ

- 5月/8月 バンコク
第2回/第3回持続可能な観光の実現等のための日タイ観光WGの開催 (タイ観光スポーツ省等と連携)
- 9月 東京
外務省研究所 (DVIFA) との意見交換

シンガポール

- 5月 東京
第4回JTTRIグローバルセミナーの開催 (陸上交通庁 チュア副長官の講演)

ベトナム

- 9月 ハノイ・東京
ベトナム交通技術大学 (UTT) とのウェビナーの開催
- 10月 東京
第2回日越観光・人的交流イベントの開催 (ベトナム観光開発研究所 (ITDR) 共催)

韓国

- 3月 東京
日本海事センター (JMC)、韓国海洋水産開発院 (KMI)、高麗大学海上法研究センター (KUMLC) とのMOUの締結、第1回交流セミナーの開催
- 9月 釜山
同・第2回交流セミナーの開催
- 11月 東京
韓国交通研究院 (KOTI) とのジョイントセミナーの開催

中国

- 7月 東京
中国国家発展改革委員会総合運輸研究所 (ICT) との第27回日中運輸経済技術交流会議の開催

フィリピン

- 3月 東京
フィリピン運輸省次官ほか鉄道訓練センター一行との意見交換
- 5月 マニラ
アジア太平洋運輸フォーラムにて研究成果発表

オーストラリア

- 9月 クイーンズランド州・キャンベラ特別区
交通分野の脱炭素化・水素活用に関する現地調査